

「比較教育学Ⅱ」【秋学期】

秋学期授業開始（9/22）前に提出するレポートの課題

【慶應義塾大学・教育支援システム（授業支援）】による提出

☆ 『文学部講義要綱・シラバス』等にも記した通り、秋学期初回授業開始までに、下記の要領でレポートを提出してください。期日までにレポートを提出しないと、不合格になります。

【課題】：次のA、Bいずれかの課題についてレポートを作成しなさい。

（いずれの場合も、内容を的確にあらわす魅力的なタイトルをつけること）

課題A：特定の国もしくは文化圏の教育事情について調査する。

※レポートには次の諸点が含まれていることが望ましい。

- ①その国・文化圏をとりあげる理由
- ②その国・文化圏の政治・経済・社会・文化・民族・宗教的背景などの概要
- ③その国・文化圏における教育の制度・内容・方法・思想・歴史などの特徴
- ④考察（日本の教育への示唆など、調査を通して考えたこと）
- ⑤参考文献リスト

課題B：特定の教育課題・問題について複数国・文化圏間の比較検討を行う。

※レポートには次の諸点が含まれていることが望ましい。

- ①その教育課題・問題をとる理由
- ②その教育課題・問題に関する各対象国・文化圏の状況の叙述
- ③比較検討の結果わかったこと（共通点・相違点）
- ④考察（日本の教育への示唆など、比較検討を通して考えたこと）
- ⑤参考文献リスト

【提出】: ☆2017年9月22日（金）午前9時00分まで

【慶應義塾大学・教育支援システム（授業支援）】

による提出のみ、とします。

【要注意】 上記以外では受けとりません。特別の事情がある場合には、必ず事前に相談してください。

★ A4用紙・横書き設定、4,000字～8,000字程度（超過しても構わない）

（PDF形式の電子ファイルによる提出を原則とする。想定しているのはWordなどの文書ファイルをPDF化したものであるが、プレゼンテーション用ファイル（ppt/pptx）をPDF化したものを提出してもよい。）

★ 授業での発表を前提として、共同研究・共同執筆によって作成してもよい。ただしその場合には、何らかの形で、各自の分担箇所を明記すること。

★ 文献・資料・ネット上の情報のいずれについても、引用・参照した場合には、必ず出典を明記すること。（いわゆる「切り貼り」による無断引用は違法行為である。）

注：

秋学期の授業では、このレポートをもとに有志（20人程度）に発表（プレゼンテーション）をしてもらい（共同発表も可）、クラス全体で討論をします。発表者以外は、毎回、発表に対するコメントの提出を求めます（発表者はすべての回につき免除、その他総合評価についても考慮します）。

発表日は、9月22日に決めます。

なお、9月22日の授業では、レポートのタイトルを用紙に記入してもらいます。提出したレポートのタイトルをあらかじめ確認・記録しておいてください。

（この文書は、教育支援システムの「比較教育学Ⅱ」においても掲示しています。）

以上